

STEM REPORT Science English, Science & Talk

2021.11.11 THU

11月11日（木）5, 6限、コスモサイエンスコース2年生 Science English の授業として自然科学研究機構外国人研究者による授業①「サイエンス・イングリッシュ」を実施しました。

すべて英語の授業、コスモ2年生にとっては昨年度に続き2度目です。

生理学研究所 NGUYEN THI HONG KONG 先生に、ご出身のベトナムのこと、来日の動機、日本のアニメが好きであること（ちびまる子ちゃんのまる子に髪型を似せていたほど好き）、ご専門の「冷感が生じるしくみとしてのメントール受容体」研究についてたっぷりと語っていただきました。

英語力と科学力をフルに使う2時間でした。

Student 「小さい頃からいろいろなことに興味を持つことは大事か？」

NGUYEN 先生 「すごく大事！見ることも聞くことも読むことも大事」

サイエンス&トークはアットホームな雰囲気

【感想】

This time it was a little difficult for me to understand. I am studying physics in a lecture from biology. It is so fun because the content was very interesting. Nguyen Thi Hong Kong, the teacher who gave the lecture, was very surprised to hear that she could speak English. She also found it very cool to be able to speak English depending on the situation.

感想を All English で書く受講生も！



NGUYEN 先生には授業後にも「サイエンス&トーク」でご指導いただきました。英語部やサイエンス部、勉強の息抜き(?)の3年生など20名にメントール受容体の研究についての講義を行い、フリートークにも応じていただきました。

今年のノーベル生理学医学賞はカプサイシンやメントールによって発生する温覚と痛覚の受容体発見でした。タイムリーでホットな話題に受講生も熱く（メントールはクールですが）なりました。

受講生の声：冷たさや辛さを感じるチャンネルは1つだと思っていた、温かいと冷たいとをそれぞれ感じるチャンネルがあると知り、自分が思っていたのと全然違って興味深かった。メントール入りのタブレットを食したあとに冷水を飲むと、舌がとても冷たく痛く感じることを、特に何とも思っていなかったが、詳細を知ることができた。普段よりも頭を使った。理解を深くできたように感じる。